◎産業建設部所管

問 まさき町産業まつり「たわわ祭」の補助金の出先は。　藤岡委員

答 公益財団法人愛媛県市町振興協会からの補助金である。サマージャンボ宝くじ・オータムジャンボ宝くじの収益金等により、市町を支援する団体である。

問 はだか麦プロジェクト事業及びレンタサイクル事業の効果は。　金澤委員

答 はだか麦事業は、新年度の六次産業化とオリジナル商品化の二本柱とし、飲食店の認定、認定商品のPR強化等、町民を巻き込んだ活動を予定している。このほか、高機能食品の実証実験、製造メーカーとの協定締結に取り組んでいく。

また、レンタサイクル事業は、1月までで53台の実績がある。新年度から、レンタサイクルの値下げをし、利用の促進を図るとともに、広報、ホームページ、エミフルMASAKIでのPRを考えている。

問 商店街関係街路灯整備事業の内容は。　影岡委員

答 現在49か所設置されている雪洞（ぼんぼり）型単独支柱の街路灯を撤去移設し、LED照明へ交換するものだ。設置場所は、近接する電柱へ共架するもので、場所はほぼ変更なし。

問 古泉駅南の花畑整備が、昨年度は全額町負担であった。今年度は県補助対象になっているが。　田中委員

答 県の補助基準に今年度は達していなかったが、新年度は設置されている板橋より、高機能な物を設置することにより補助対象となった。

問 新規漁業就業者定着促進事業補助金額は。　村井委員

答 補助金70万円と松前町の支出を併せ、最大140万円となる。この補助金を受けるためには講習等の受講が必須となっている。

問 採水補償費の内容は。　三好委員

答 内訳は、東レ株式会社及び松山市公営企業局であり、松山市は法人税割、東レ株式会社は浅井戸1本、深井戸1本あたりの金額となっている。今後の契約見直しについて、補償費は取水している大字へ支払っており大字との協議が必要となる。

問 都市計画審議会とは。審議委員の内訳は。　早瀬・藤岡・伊賀上委員

答 市街化調整区域のあり方も含め、市街化調整区域内での地区計画の運用方針策定について審議会の意見を頂く予定である。

都市計画審議会は条例で設置し、学識経験者4名、町議会議員2名、関係行政機関として警察署長など3名の計9名を考えている。

委員報酬は一人7400円で、9名分の合計6万6600円である。

問 街灯の電気代の負担者と設置要綱は。　住田委員

答 街灯の電気代は基本、大字の負担である。通学路の街灯などは、町が電気代を負担することとしている。

街灯の新設は、大字区長からの要望があれば現地調査等を実施し、必要により設置する。

◎教育委員会所管

問 学校関係の委託業務の入札は。　藤岡委員

答 委託先は入札によって決定している。小中学校で同じ業務を行う場合は、まとめて入札を行っている。

問 松前中学校改築事業の国からの補助額は。　村井委員

答 事業の進捗予定に合わせて、平成31年度から平成33年度にかけておよそ1億8700万円の補助金が国から交付される予定だ。

問 学校現場の業務改善による影響は。　金澤委員

答 平成29年度から国の補助事業である「学校現場の業務改善加速事業」が始まり、県内では松前町を含め3市町で実施されている。

新年度は更に1市が加わるため、県全体で予算が調整され、前年度から予算は少し減額